

2013 年度ドクター研究員プロジェクト活動実績報告書

氏名	石川 優
<p>(プロジェクト・テーマ名)</p> <p>ポピュラー文化研究における実践と研究の架橋 — 「やおい/ボーイズラブ」を対象として—</p>	
<p>(研究活動実績)</p> <p>本プロジェクトの目的は、男性間の恋愛を主題とした女性向けの作品群である「やおい/ボーイズラブ (BL)」を対象とし、実践と研究という双方の視点をつなぐことである。多様な実践者（実作者、編集者、ファンなど）が関わって形成されるやおい/BLを対象とした研究において、実践者の声は等閑視できない。このプロジェクトは、実践と研究の架橋を通じて、ポピュラー文化研究全体を活性化させることを目指すものである。なお運営は、三上雅子教授（表現文化学専修）の指導のもと、研究協力者と共同でおこなった。研究協力者は、東園子（大阪大学）、木下衆（京都大学）、杉本＝バウエンス・ジェシカ（京都精華大学）、西原麻里（関西大学）、秦美香子（花園大学）の計5名である（五十音順、敬称略）。</p> <p>プロジェクトの主軸は、シンポジウム「BLのカラダ—マンガ表現にみる男性身体」の開催である。実施概要を下記に記載する。2013年12月15日14時～17時、於京都精華大学、登壇者（五十音順、敬称略）：えすとえむ（マンガ家）、杉本＝バウエンス・ジェシカ、西原麻里、馬場伸彦（甲南女子大学）、司会：石川優、参加者：85名、主催：大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター、京都精華大学国際マンガ研究センター、共催：大阪腐女子研究会。また、シンポジウムの計画と総括のため、計9回の研究会を実施した（2013年4月29日、6月2日、7月15日、8月25日、10月6日、11月2日、12月5日、2014年2月2日、3月2日）。</p> <p>シンポジウムでは、やおい/BL文化を牽引する商業BLマンガに焦点をあて、「男性身体の表現」を中心に議論を交わした。男性間の恋愛が主題となるやおい/BLにおいて、男性キャラクターの身体がどのように表現されているかは極めて重要な点である。男性身体に対する創作姿勢や表現技法などに関する作家へのインタビューを中心に、やおい/BL表現の歴史的変遷、ゲイ向けマンガや男性ヌード写真との視点の比較など、男性身体の表現について多角的に議論し、フロアからはジェンダー研究の観点も加えられた。このシンポジウムで提示された視点は、ポピュラー文化を扱う研究にとって示唆を与えるものといえるだろう。本プロジェクトで得られた成果および課題について、2014年度の報告書の刊行・ウェブでの公開を目指す。</p>	